

有害動植物等利用連絡票の記載留意事項

項目	記載方法
1 有害動植物の名称等	- 有害動植物の学名を記載すること。なお、和名がある場合は和名を併記すること。 - 有害動植物が植物に寄生した状態で移動する場合は、その旨を記載し、寄主（宿主）植物名を括弧書きすること。 - 有害動植物が土、農機具その他の物品に混入又は付着した状態で移動する場合は、その旨記載すること。
2 数量	（１）採取地又は入手先別、有害動植物別に数量を次により記載すること。 ア 生植物、いも類等 - 種類（品種）ごとに個数 イ 生果実等 - 種類ごとに重量 ウ いねわら、むぎわら、いねもみ、もみがら等 - 種類ごとに重量 エ 有害動物 - 種類ごとに頭数又は重量 - 植物に寄生している場合は、寄主植物ごとに頭数、個数又は重量 オ 有害植物 - 種類ごとに試験管等の容器数 - 植物に感染している場合は、宿主植物ごとに個数又は重量 カ 土又は土付着の植物等 - 種類ごとに重量 キ 種子 - 種類（品種）ごとに重量又は粒数 ク 農機具その他の物品 - 種類ごとに台数 （２）重量については、原則として正味重量を記載すること。ただし、正味重量を計算することが困難な場合は、容器包装を含む総重量を記載すること。

3 利用の目的	試験研究等の目的をできるだけ詳細に記載すること。
4 採取地又は入手先	有害動植物等を採取した場所の住所又は入手した機関等名を記載すること。なお、採取した場所は市町村名まで記入すること。
5 利用時の管理場所及び方法	・ 有害動植物等の管理場所（住所、研究室名等）並びに保管、試験研究及び廃棄の方法を詳細に記載すること。 ・ 管理場所の場所等の分かる地図を添付すること。
6 利用期間及び利用後における処理方法	・ 利用を開始してから終了するまでの期間（○年○月○日～○年○月○日等）を記載すること。 ・ 利用後の処理方法は、有害動植物等、使用した器具類等の消毒（廃棄）方法（高圧殺菌、焼却等）を記載すること。 ・ 利用終了後、試験研究用として保管する場合等はその旨を記載すること。
7 利用時の管理責任者氏名	試験研究等を担当する責任者の所属機関名、職名、氏名、電話番号及びメールアドレスを記載すること。
8 その他参考となる事項	（１）管理責任者が不在時の連絡者の所属機関名、職名、氏名、電話番号及びメールアドレスを記載すること。 （２）その他参考となる事項を記載すること。